

議会報告会記録（平成 24 年 5 月 12 日（土） 加西市健康福祉会館）

1 部 議会報告（3 月議会）

問：加西市名誉市民条例の制定について、政治家は省いたほうがよいと思うが議論されたか。

答：同様の意見もあったが、多数決で決まった。

問：TPP の問題について議論されたか。

答：昨年 9 月議会の一般質問で取り上げた。行政側は、国が検討しているため、賛成・反対の回答はなかった。また、22 年度の議会で、TPP 反対の意見書を国に提出している。

問：河川の草刈りはどうなっているか。

答：市が委託をされ、地元自治会に草刈りをお願いしている。

問：平成 24 年度の予算は、市長の公約である 5 万人都市再生と総人件費 2 割削減がどのように取り入れられているか。

答：市長、副市長、教育長、管理職はすでにカットを行っており、一般職もこの 4 月からカットをしている。

問：議会だよりに、介護保険料は北播磨で加西市が一番安いと書いてあるが、基金 1 億 7000 万円の取り崩しをもう一度精査されてはどうか。

答：もっと低くできないか議論したが、介護サービスの見通しがつかず、基金を使い切ってしまうと、次の負担増につながる。基金をどれだけ使うかは市の判断である。

問：行政事務委託契約について、契約は各区長とし、委託料は代表区長に支払われている。予算ではその議論をされたか。

答：予算委員会では当該委託料の議論はなかった。補助金の精査・改善を求める意見はあった。

問：イノシシ・シカ対策について、多くの人が困っており、もっと力を入れて対策してほしい。

答：24 年度は 2498 万円の対策費を計上し、防御柵の設置を予定している。議会でも繰り返し議論されている。ハード面だけでなく、隣の町と連携した手立てをとの指摘もあった。

2部 意見交換（人口増対策について）

問：都市計画マスタープランについて、地縁者住宅地にアパートや集合住宅を建ててほしい。

答：規制が厳しく、一戸建てしか認められていない状況。新たな住宅地開発のため、区画整理を西高室で行っている。

問：小野市のように、若い人が子供を連れて生活しやすい福祉施策が必要だ。

答：加西市ではこれまでに、水道料金の1割値下げや中学3年生までの医療費無料化など行っている。一つずつ解決していくことで、人口増対策につながる。

問：消防署の跡地等を活用し、市営住宅や県営住宅を早く建てるのが人口増につながる。

答：議論していきたい。

問：加西市が小野市より負けない施策は。

答：加西市の自然、花と緑をもっとPRすべき。市外の年配者に、老後はここに住もうかというPRが大事。また、教育も魅力的。これからも教育レベルを上げていくことは、人口増の一つの施策。

問：将来、学校を統合するのかもしれないのかはっきり決めてほしい。

答：財政が非常に厳しく人口が減る中で、事業をおさえて何もせず、健全化だけを目指しているのかという意見もあった。学校問題はこれまで議論してきたが、残してほしいという声が圧倒的だった。

問：障がい者やお年寄りが安心して暮らせるような福祉が人口対策で大切だと思う。

答：障害福祉計画が策定され、きめ細かなサービスを提供するとしており、その点を理解しながら、頑張っていく。

問：今日の報告会は、福祉会館でしているのに参加人数が非常に少ない。もっと頑張って参加者を集めてください。

答：これまで中学校区でやってきたのを、1ヶ所に集約するのではない。「夜は参加できないが、昼なら」という声もあった。いろいろな形で報告会に取り組み、どのような会が有効なのか、よく検討して次の会に臨みたい。